

事業所名 グループホーム亀山
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 2月12日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 通所介護事業所管理者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士、ヘルパー養成講座講師、生活相談員
B:現職 訪問看護師
資格・経験 看護師(37年)、介護支援専門員
C:現職 介護支援専門員
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>めざしているものとして、「誠心誠意・親切・優しさ」、「人との結びつきを大切に」、「介護・看護のより専門性の高いケア」、「風通しの良いグループホーム」があり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の「この時間(とき)」を大事にしたいという誠心誠意の取り組みは、入居者個々のバックグラウンド作りにも表れている。ライフサイクルに合わせた生活の状況や、本人が使う愛称や兄弟の愛称、こだわりの化粧品や水道の蛇口のレバー等日々の生活の中から入居者をより深く知るため、詳細にアセスメントを行っている。記録類からは、入居者一人ひとりをより理解したいという職員の思いと、認知症介護の専門性の高さも見える。入居者・家族・地域の人が気楽に來れ、職員と何でも言い合えるようなホームをめざし、日々動んでくる。 ・代表者・職員の信頼関係はもとより、家族や地域の人との関係作りにも尽力しており、家族会の活動や運営推進会議等、様々な活動を通して家族や地域の人との良好な関係を築いている。そのことは、入居者へのデイリープログラムや様々な催し、ボランティアによる種々な活動、地域の行事や学校との交流等、様々な産物を生んでいる。 ・ケアの精神作りとして接遇面への取り組みがあり、「ケアする心」を啓蒙している。研修への取り組みも素晴らしい、着実に様々な研修を重ねている。感染対策や異常の早期発見への体制作りも進めており、職員は様々な業務や取り組みに対して、自らやるのが当たり前として捉えており、ホーム全体で意欲的に取り組んでいる。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違え等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者のできること、やりたいことを最大限に活かせるように支援している。毎年恒例の法人全体のカラオケ大会では、予選会を勝ち抜いていく方式を採用しており、最後の決勝大会では、出場者を皆で応援し、その結果を皆で喜んでいる。 ・職員と家族との関係が良好で、信頼して任せられる安心感がある。職員は、ゆとりを持って介護に当たっており、入居者もホームでの生活が居心地良く、落ち着いた気持ちで過ごせる。 ・様々な食事に関するイベントの日を設け、食べることを楽しみに大切にしている。「郷土料理の日」では、メニューに使った食材の産地についての歴史や特産物、名物等について話し、そのことから様々な話題も持ち上がり、楽しい食事風景となっている。また、菜園や庭で取れた作物は、サラダやジャム、ケーキ等、色々利用して食卓に上がっている。さつまいもを利用して重量当てクイズも行っており、食べることを心から楽しめるように支援している。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・母体法人は、介護老人保健施設やデイサービス、ケアハウス・ホームヘルプサービスなど多岐にわたり高齢者福祉に携わっており、地域との関わりも深く、地域に密着し、地域には欠かせない存在となっている。
- ・ホームは、鉄筋コンクリート2階建ての建物で、1階に1ユニット、2階に2ユニットの計3ユニットで構成されている。「桜の園」というサブネームが現すように、各ユニットには、「桜並木」、「花畑」、「果物畑」という名前がつけられている。1階には、デイサービスも併設しており、それぞれが協働しながら活気あるユニット作りに進んでいる。
- ・代表者・管理者は、日頃から職員の言葉に耳を傾けてコミュニケーションを図り、信頼関係を築いている。職場の環境が整うことは、職員の気持ちの安定やゆとりともなり、入居者への安定した介護へとつながっている。
- ・誕生日祝いの一泊旅行、郷土料理の日、お寿司の日等々、季節ごと、月ごとに様々な行事があり、日々の暮らしが活性化することにより、入居者は張り合いや生きがいを持って暮らしている。そのほかにも、空手道エクササイズ、絵手紙や書道、手芸などのクラブ活動、日曜ごとに行われる合同のレクリエーション等活発に行動している。職員は、「入居者一人ひとりとととの『その時』は一度しかなく、大切にしたい」との思いで日々取り組んでいる。
- ・ケアサービスの質の向上に向けて、全職員が意欲的に取り組んでおり、より良いケアを提供するため、9つの委員会を設け、全職員が携わっている。また、内外の研修に積極的に参加できるよう体制を整え、ユニットごとのミーティングや全体でのミーティングを通して活発に意見交換を行い、法人全体で介護水準のレベルアップを図っている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

改善の余地があると思われる点は見当たらない。

- ・「入居者の時間(いま)」を基本にした優れた管理能力、計画力、行動力、推進力、それを取り巻く人的環境等、今後も、どこまで進化を遂げるのか大いに楽しみである。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者一人ひとりについて丁寧にアセスメントを行い、これまでの生活や好きなこと等をより多く知り、今までと変わらぬ生活を継続し、その人らしく暮らしてもらえるように取り組んでいる。これまでのライフステージごとの生活や職業、自慢にしていること、強く影響を受けた人、認知症発症の経過とその他の病気、今後ホームに望むこと、身体状況やADL等々、詳細にアセスメントを行い、記録している。 ・面会簿については、個人ごとに面会票に記入してもらい、ユニットごとにまとめて管理している。 ・それぞれのユニット間を自由に行き来できるようになっている。庭やバルコニーへも自由に出入りができ、好きな時に外の景色を見たり外気に触れたり、入居者が自由に活動できるよう環境を整えている。 ・生活の中で行っている手工芸や書道、絵手紙や園芸などのクラブ活動、その他にも、個人で行っている趣味活動等を発表する機会を作っており、目的意識を持ち、達成感や満足感を味わってもらい、次の新たな意欲が持てるように支援している。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや事故報告書については、その日のうちに対策を話し合い、再発防止に努めている。月1回、法人全体での「事故発生委員会」の中でも再度話し合い、検討している。報告書には、当事者の疾患名や発症状況の略図、状態の程度を記載するようになっており、事故の発生状況がよくわかり、単に発生した事柄だけではなく、あらゆる状況を考え検討できる。 ・入居者が張り合いや生きがいを持って暮らせるよう、各種委員会を設けて入居者の様々な活動や日々の安全・安心な暮らしを支援している。入居者を支える上での目的が明確にあり、より意欲的に支援できる。入居者には、クラブ活動として手工芸や書道、絵手紙、園芸といった日常生活の中で自然に取り組みやすいものや、空手道エクササイズなどのレクリエーションを取り入れ、日々活動している。 ・インフルエンザや0-157などの感染対策、衛生面については、特に気を付けている。手指や手すり、トイレなどの消毒、台所の清潔については、毎日、または、週ごとに計画を立てて実施している。訪問される方にも、風邪を引いている方はお断りしたり、インフルエンザの予防接種は、家族の了解も得て、入居者全員に接種してもらっている。また、嘔吐物への消毒は、いつでも処理できるよう用具をセットして各ユニットに備えている。 		